



住まいのおしゃべり広場

2023年12月 発行

末政建設株式会社 第84号

< 目次 >

1. 中学生職場体験レポート
2. 3 今年の工事報告
4. 「チャコの家」探検隊



< ARE・アレ >

歳を取るにつれ1年があつという間に過ぎていき、もう年末です。今年、阪神タイガースは38年ぶりにアレ(優勝)して日本一になりました。毎年、待ち望んでいたファンには何とも言えない喜びだったと思いますし、勝っても負けても我が子のように応援してきた気持ちは尊いなあと思います。来年は、私にとってアレなのかコレなのか何が起こるのかわかりませんが楽しみにして、年を越したいなあと思います。

< 祥代 >



中学生職場体験レポート

11月初旬、ご縁があって、北陸中学校から弊社に3日間、一人の生徒さんが職場体験にいらっしゃいました。ここ数年は、コロナ禍もあって、受け入れていなかったのが久しぶりという事もあり、詳しくご紹介します。

体験されたのは、春江町在住の中学2年生、小林晟空(せら)君です。部活動は、吹奏楽でサクソを吹いています。

そんな小林君の将来の夢は、建築士です。小学生の頃、見ていたテレビ番組で一級建築士が建てた家が住みよさを工夫していて、もの作りが好きな自分もこんな風に家を作りたいと思ったのがきっかけだそうです。

さて、その体験の一つとして「パナソニックショールーム福井」さんのご協力のもと、キッチンやお風呂などを見学に行きました。小林君は他のメーカーへも家族に連れて行ってもらったりするほど建築資材や商品に興味があるので、熱心に見学していました。

また、弊社の施工中の現場を見て回りT様邸では、これから建前ということもあり床組みの部分

を手伝ってもらいました。『チャコの家』のパネルにビスを斜めに入れたり木材をカケヤで、はめるのが楽しかったそうです。そんな合間を縫って家の模型の修復作業をしてもらいましたがさすが器用に丁寧に直してくれました。

そして最終日には建てたい家の設計を建築CADを使ってパソコンで体験しました。

3日間の体験を終え、今回の体験で一番楽しかったことは？と聞くと「設計だけではなくて、現場に出たことです。また、末政建設のスタッフさんを含め大工さんや職人さんたちがみんなとてもいい雰囲気の仕事がされていて楽しかったです。」と言ってくれました。人手不足のこの世の中、特に建設業を志す若者が減っているなか小林君のような存在はとても貴重。いつか夢が現実になることを祈っています。そして小林君のように建設業を目指す若者が増えてくれるといいなと思います。

< 祥代 >



小林君



パナソニックショールームにて



『チャコの家』現場



社員の指導の下



模型修復中



社長から設計を勉強中



パソコンにて設計中

